



# 栗原市立玉沢小学校閉校記念誌



ありがとう  
～みらいをつなぐ栗原市閉校記念誌～

2017.03



<b>あいさつ</b>			
玉沢小学校 閉校記念誌の発刊に寄せて	栗原市長	佐藤 勇	1
玉沢小学校の閉校に寄せて	栗原市教育委員会教育長	亀井 芳光	2
閉校に寄せて～玉沢小のきずな永遠に～	栗原市立玉沢小学校校長	當麻 哲	3
144年間ありがとう玉沢小学校	栗原市立玉沢小学校PTA会長	平野 友和	4
<b>栗原市立玉沢小学校 校歌</b>			
<b>児童数の推移・校旗・校章</b>			
<b>玉沢小学校のあゆみ</b>			
～明治・大正			7
～昭和			8
～昭和・平成			9～10
<b>学校の概要</b>			
学区の概要			11
校舎のようす			12
<b>歴代校長</b>			13～14
<b>歴代PTA会長</b>			15
<b>寄稿文</b>			
～歴代校長～	充実した3年間	第26代校長	大場 勝 16
	玉沢小学校の閉校に寄せて（在職当時の思い出）	第29代校長	阿部 仁 16
	永久（とわ）に心のふるさと玉沢小学校	第31代校長	小野寺八重子 17
～元職員～			
	素敵な思い出ありがとう	元職員	菅原真知子 18
	玉沢小の「旅立ちの時」に寄せて	元職員	木村恵里香 18
～地域の方々から～			
上照越地区	玉松、元気かなあ。 「玉沢っ子、元気です」	狩野 政広 伊藤 悠杏	19 19
中照越地区	子どもたちの声に励まされ すごかった！玉沢小水泳陣 空の下でみんな繋がってる	藤岡 今子 渋谷 健一 田宮 亨瑠	20 20 21
下照越地区	玉沢っこの躍動いつまでも 感謝 校歌 ありがとう 玉小！	佐竹 正規 高橋 正人 安蘇 政樹 田崎 昌子	21 22 22 23
八沢地区	閉校に思う 耳を澄ませば	三塚 牧夫 千葉 克哉	23 24
太田地区	玉沢小学校に感謝、そしてありがとう 玉沢小学校を通して ありがとう！！ 玉小そして玉松 玉沢小学校。繋がる。	石川 正運 晝八 達也 石川 美和 菅原 麻里	24 25 25 26
<b>寄せ書き ～在校生から～玉沢小学校での思い出と将来の夢</b>			2年 27
			3年 28
			4年 29～30
			5年 31～32
			6年 33～34
～先生方からのメッセージ～			35～36
<b>思い出のアルバム</b>			37～39
<b>編集後記</b>			栗原市立玉沢小学校 教頭 千葉 宏樹 40
			PTA学校再編実行委員会 副委員長 関村美裕紀





## 玉沢小学校 閉校記念誌の発刊に寄せて

栗原市長 佐藤 勇

大きな大きな玉松に見守られ、校章にもあしらわれている玉松のモチーフには、健康・学問・友情・明朗・責任の願いを込め、これまで多くの子どもたちを育ててきました玉沢小学校が閉校するにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

明治6年、八沢小学校、照越小学校としてそれぞれ創立されてから、大正11年に玉沢小学校として統合され、創立から数え144年という長い歴史をもつ玉沢小学校は、地域の方々の学校教育に対する御理解、御協力のもと、温かな目に見守られ、健全な児童育成の伝統を築き上げてこられました。

長い歴史の中で、学校及びPTA、また児童が、幅広い分野において多くの賞を受賞されておりますことは、歴代の校長先生をはじめ、教職員、関係者の皆様の並々ならぬ御尽力の賜であります。過去から現在へ歴史を語る玉松、現在から未来へ歩む子どもたち、その両方を守り、育ててこられた地域の皆様に、心より敬意を表する次第であります。

玉沢小学校では、「豊かな心もち、自ら意欲的に学び、心も体もたくましい子どもの育成」を教育目標に、地域の皆様の御協力を得ながら、多くの行事や、工夫を凝らした学習活動を積極的に行うことで、確かな学力と健やかな体を育成し、また、郷土を知り、地域を愛する教育にも力を入れ、思いやりや感謝、尊敬する心を育まれてきました。

また、縦割り活動による学年を越えた交流や、地域の皆様、企業や団体の皆様が、児童を我が子のように想い、育てるため、多くの交流活動、校外学習などを実施され、幅広い世代と触れ合うことが、児童の豊かな人格形成に寄与されたことと思います。

特に、平成3年に金管バンドが結成されてからは、県大会において何度も入賞し、金賞も受賞されましたことは、先生方の熱心な御指導と、保護者や地域の皆様の応援があったからこそであります。一つの目標に向けて皆さんで協力することは、学校と地域の連帯感の醸成としても大変意義の深い活動であります。

このように、地域に愛され、歴史と伝統ある玉沢小学校が、栗原市全体における学校再編の流れから、本年3月31日をもって校史を閉じることとなりましたことは、これまで玉沢小学校を巣立った皆様、また、地域の皆様にとりまして、深い愛惜の念があると拝察いたします。私も、最後の学習発表会に出席させていただいた際には、寂しい思いがこみ上げてまいりました。

しかし、ここで歴史が終わるのではなく、これからは次代へ、玉沢の歴史と伝統が受け継がれていくようお願いするものであります。

栗原市は、これからも「学府くりはら」の実現に向けて、教師と子どもたちがしっかりと向き合い、学校生活に満足感や達成感がこれまで以上に得られる教育環境づくりを目指すとともに、玉沢小学校がこれまで育ててきた歴史が長く受け継がれ、これからの新しい地域の歴史が築かれていくことを心より御祈念申し上げ、閉校記念誌発刊のあいさつといたします。





## 玉沢小学校の閉校に寄せて

栗原市教育委員会

教育長 亀井 芳光

玉沢小学校は、その輝かしい歴史に幕を閉じ、平成29年4月1日、築館小学校と再編し、新生「築館小学校」として新たなスタートを切ることになりました。これまで地区コミュニティの核としての役割を果たしてきた学校が閉じられるということは、地域の方々にとっては苦渋の決断であり、多くの卒業生の胸のうちにも一抹の寂しさがあることを禁じえません。断腸の思いで再編に同意賜りました玉沢地区の皆様には心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、玉沢小学校は明治6年、八沢地区に八沢小学校、照越地区に照越小学校（明治8年に玉荻小学校と改称）の2校の開校に始まり、今日まで144年の歴史と伝統に輝く学校であります。学校開設以来、校名の改称や分教場・分校等の設置・統廃合など時代の流れとともに、その姿を変えながら、昭和22年4月、玉沢村立玉沢小学校となり、昭和29年4月の町村合併により築館町立玉沢小学校、平成17年4月、栗原市立玉沢小学校と改称され、現在に至っています。

また、教育熱心な地域の方々を支えられ、県指定の各種公開研究会の開催、「子ども貯金」大蔵大臣表彰、父母教師会の文部大臣賞等、数々の実績が残されており、まさに「地域に根ざした学校」として、特色ある教育活動を実践し、多くの優れた人材を輩出してきました。

しかしながら、児童数が著しく減少している現状や国際化・情報化が急激に進み、日々変化するこれからの時代に生きるたくましい子どもたちの育成を考えたとき、学校の適正規模や適正配置を図りながら、一定の集団の中で安心して学習に取り組める教育環境を整えることは私たちの一つの責務であります。

再編するにあたっては、これまで脈々と受け継がれてきた玉沢小学校の輝かしい歴史や伝統を受け継ぎ、新しい出会いを喜び、共に学び、励ましあいながら、子どもたち・保護者・地域・学校が一丸となり、新たなコミュニティと伝統の創造に向けて取り組んでいってくださることを信じてやみません。

その実現のためには、先に学区の組み替えにより築館小学校区となった富野地区、そして新たに学ぶこととなる築館小学校学区の仲間との更なる交流を深めていくことが不可欠であります。教育委員会といたしましても、地区の皆様から「再編してよかった」と語り継がれる学校になるよう環境づくりに努めていく所存であります。

結びに、閉校にあたり、これまで永きにわたり、玉沢小学校を温かく見守り、支えてこられました地域の皆さまに重ねて感謝を申し上げます。閉校記念誌に寄せる言葉といたします。



旧校舎





閉校に寄せて～玉沢小のきずな永遠に～

栗原市立玉沢小学校

校長 當麻 哲

「丘あり野あり家ありて 耕す土の幸多く わが美しき玉沢の 里の光の学び舎よ」と校歌で謳われています。

玉沢小学校はまさしく自然豊かな美しい玉沢の地で、「里の光の学び舎」として地域とともに歩んできた学校ではなかったかと思えます。

明治6年に照越小学校と八沢小学校の2つの小学校からスタートし、幾多の変遷を経ながら大正11年に統合され玉沢小学校となりました。そして、今日まで幾多のすばらしい人材を輩出し、輝かしい歴史と伝統を築いてきました。

私は、この2年間玉沢小学校にお世話になりました。赴任当初、感動したことがあります。それは、元気な挨拶と話を聞く態度がすばらしい子どもたちでした。誰にでも元気な声で挨拶ができ、お辞儀もしっかりとできます。話を聞いている時は、しっかりと話をしている人の方を見て、素直に聞いています。その姿に驚かされたものです。

また、上学年が下学年の面倒をよく見ている姿、授業中も全員が集中して学習している姿、この姿は先輩から後輩へと受け継がれてきた本校の伝統であろうと思えます。

玉沢小学校は、家庭・地域との協力体制が強く、平成5年度にはPTAが文部大臣表彰を受けております。代表的な活動として、毎年PTAが主催で「親子ふれあい活動」を行ってきましたが、今年度は、地域の皆様にもご参加をいただき、「地域ふれあい活動」として、家庭・地域・学校とが一体となった心に残る活動が展開されました。

子どもたちが夢をもって伸びやかに成長している支えとなっているのは、家庭や地域の皆様の温かい愛情と熱い思いであることを改めて強く感じました。保護者の皆様や地域の皆様にとっては玉沢小学校の閉校は大変残念でありさびしいことでしょう。

しかし、綿々と築き上げてきた伝統や実績は永遠に消えることはありません。

必ずや新生「築館小学校」においても生かされ、子どもたちは、学校のシンボルである玉松のごとく強く逞しく伸び伸びと成長することを信じています。

最後に、今日まで玉沢小学校の発展にご尽力をいただきました、地域の方々、PTAの皆様、この記念誌作成はじめ学校再編事業にあたりご支援を賜りました関係各位の皆様にご心より感謝申し上げますとともに、玉沢地区のさらなる発展を祈念し挨拶いたします。





## 144年間ありがとう玉沢小学校 ～このきずな永遠に～

栗原市立玉沢小学校  
PTA会長 平野 友和

題名は玉沢小学校におけるラストテーマです。

これまで多くの卒業生を輩出してきた玉沢小学校に感謝するとともに、これからも玉沢地区がより良いものになっていくことを願いながらと思い、このラストテーマをPTAの皆さんで考えました。

過去、私自身が玉沢小学校に入学し卒業した学校。月日が経ち私自身が親となり子どもと手を繋ぎ母校の学校に入学、そして何より校歌を一緒に歌える喜びも幸せでありました。

学校の統合・再編で144年の歴史に幕を閉じます。悲しい気持ちはありますが、寂しい気持ちはありません。

同じ学び舎で学んだ友達、熱心に指導してくださった先生方、優しい目で見守ってくれた地域の方、愛情こめて育ててくれた家族の方。これらには沢山の「絆」があります。

糸へんに半分と書いて

きずなと読みます

お互いに半分ずつの糸を

結び合うからです

糸の太さは人それぞれに

顔の違いと同じ

固いか緩いか

その結び方が大切です

この玉沢地区には固く、太く結ぶ力、でも時には緩く結べる地区・学校でもあります。今後もこの絆を大切に、皆で肩を組み校歌を歌うそんな日が来ることと思います。最後にもう一度。144年間ありがとう玉沢小学校～このきずな永遠に～



# 栗原市立玉沢小学校 校歌

白鳥 省吾 作詞  
弘田 龍太郎 作曲

♩ = 112



お か あ り の あ り い え ー あ り  
て た が や す つ ち の さ ー ち ー お お ー  
く わ が う る わ し き た ま さ わ の さ と  
の ー ひ か り の ま な ー び や よ

一、丘あり 野あり 家ありて

耕す 土の 幸多く  
わが 美わしき 玉沢の  
里の 光の 学び舎よ

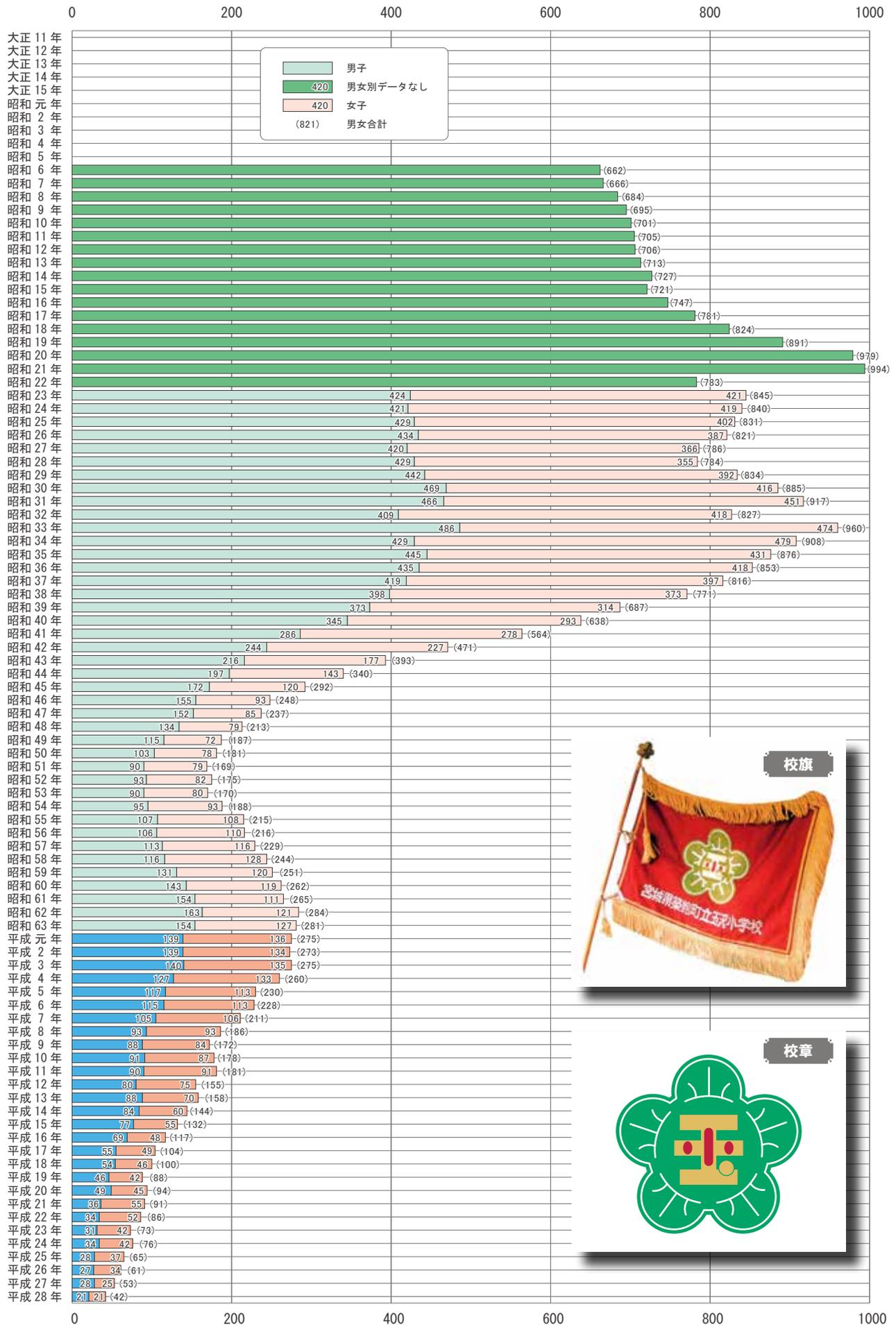
二、われら 楽しく 集いきて

朝な 夕なに 学ぶ時  
希望も 高き 栗駒に  
心も 広き 伊豆沼よ

三、貫く 至誠 ひとすじに

友と 仲良く はげみては  
わが 日本の よき民と  
町の ほまれの人たらん

昭和十四年三月 制定





年月	沿革概要	
明治 6	<b>旧玉沢村立太沢小学校</b> 武田亮安氏を教師として八沢養沢寺に八沢小学校を開設（通学範囲…八沢、太田、横須賀）	<b>旧玉沢村立玉荻小学校</b> 渋谷仙右衛門氏を仮教師とし本人宅に照越小学校を開設する
		
	八沢小学校の跡（現養沢寺）	玉沢小学校照越分教場の跡
		
	玉沢小学校玉荻分教場の跡	
8	八沢下等小学校と改称	玉荻小学校と改称する
12 6	第四中学区八沢小学校と改称し、照越、横須賀の二支校をおく	八沢小学校照越支校となる
7	萩沢支校を築館小学校より分離して八沢小学校の支校とする 玉荻支校が独立して玉荻小学校となり、萩沢分校も分離する	再び独立して玉荻小学校となり、萩沢支校は玉荻小学校に属する
15	八沢初等小学校と改称する	照越念仏壇に校舎を新築する
19	八沢簡易小学校となる	
10		照越尋常小学校となる
20 4		玉荻尋常小学校となる
21	大字太沢八沢岩の沢に校舎を新築し移転する	
22		照越寺沢の部落共有地に木羽葺二階造の校舎を新築する
7	玉沢尋常小学校太沢分教場となる	玉沢尋常小学校と改し、太沢尋常小学校及び萩沢支校を併合 さらに太沢分教場をおく
25	玉沢尋常小学校から太沢分教場が独立して、太沢尋常小学校となる	太沢分教場が独立する
29 4		照越神田に照越分教場をおく
33		横須賀出張所をおく
38	同敷地に校舎新築起工 新校舎落成	
45		横須賀分教場をおく
大正 11 9	玉沢尋常高等小学校太沢分校となる	玉沢尋常高等小学校玉荻分校となる

**玉荻尋常小学校、太沢尋常小学校を統合し、玉沢小学校となる（10 学級）、高等科併置**

太沢、玉荻、横須賀に一学級分の分教場をおき、蟹沢に冬季出張所をおく

12 9 現校地へ校舎を新築し移転する



太沢分教場の跡



横須賀分教場の跡



蟹沢冬季出張所の跡



年月	沿革概要
昭和 2 3	蟹沢冬季出張所、太沢分教場を増修築する
6 3	玉沢小学校母姉会を創立する
9 3	蟹沢冬季出張所を廃止する(尋三以下児童自動車通学)
10 8	玉沢青年学校を創立する
13 2	学校衛生婦を設置する
14 3	玉沢小学校校歌を制定する
9	校地 9500 余りを西方に拡張することについて、 宮城県知事より認可される
16 4	玉沢国民学校と改称する
20 7	校舎増築落成(36 坪)
22 3	* 教育基本法・学校教育法が制定公布され、教育勅語は廃された
4	学制改革により国民学校の名称は廃され、玉沢村立玉沢小学校と改称される 玉沢小学校父母教師会発足する
23 7	参議院・衆議院の決議により、勅語、詔書を返還する * 教育委員会法公布 * 社会教育法公布とともに築館町・玉沢村・宮野村・富野村にそれぞれの教育委員会が発足した
25 4	蟹沢分校校舎落成する
26 2	宮城県僻地教育指定校として太沢分校公開研究会を開催する
27 9	玉沢小学校開校 30 周年記念式典
29 4	町村合併により築館町立玉沢小学校となる
31 4	簡易水道敷設
32 4	玉荻分校築館小学校に編入
33 3	玉荻分校閉校する
35 7	自転車置き場を建設する
36 6	新校舎落成する 8 教室、600 万円(建設費)
37 3	中央校舎増改築落成する 4 教室 102 坪、343 万円
39 3	蟹沢分校廃校、築館小学校学区に変更する
40 7	プール落成する
41 2	道徳教育公開研究会開催
6	体育館落成する
10	県教委指定横須賀分校公開研究会開催
42 3	横須賀分校廃校、築館小学校学区に変更する
10	午後 7 時太沢分校失火により全焼する
43 3	太沢分校廃校
44 1	校旗を制定する 簡易水道を廃止し、町水道を導入する
46 11	健康優良校として毎日新聞社より表彰を受ける
12	県健康優良学校優秀校として県より表彰を受ける
48 3	県教委研究指定「特殊教育」研究成果発表
9	開校 100 年、玉沢小統合 50 周年記念親子体育祭を開催する
49 2	郷土資料室「ふるさとの里」開設する
9	築館町交通少年団、玉沢小学校分団を結成する
50 3	完全給食開始(南部学校給食センター設立)
51 3	緑ヶ丘子ども会の歌制定
52 6	日銀総裁より子ども貯金表彰



昭和元年度



戦時下の運動会



授業の様子(昭和 38 年度)



授業の様子(昭和 50 年度)



年月	沿革概要
昭和 53 6	宮城県沖地震により校舎内外に相当な被害を受ける
57 6	大蔵大臣より子ども貯金表彰
58 2	県教委指定「特別活動」公開研究会開催



新校舎竣工式



第34回優良子ども郵便局表彰

59 3	新校舎（鉄筋三階建）落成する
60 9	優良PTAとして東北P連、県P連より表彰を受ける
61 9	統合64周年記念式典開催
63 2	優良PTAとして、日P連より表彰を受ける
平成 元 2	優良PTAとして、県教委より表彰を受ける
3 7	金管バンド結成
4 4	町教委より「福祉指導」の指定を受ける
5 10	PTA文部大臣表彰
6 3	屋内運動場落成する
8	金管バンド県大会出場
7 10	文部大臣、日銀総裁、東北郵政局長より子ども貯金表彰
8 3	プール落成 校庭暗渠排水完了する
4	町教委より「算数科」の研究指定を受ける
9	「健康な歯、口腔とよい歯」の学校表彰を受ける
10 2	読書感想画優良学校賞を受賞する
4	県教委より「統計教育」の指定を受ける
11	JRC銀色有功賞を受賞する
11 4	町教委より「心を育む教育活動推進校」の指定を受ける
12	文部省、郵政省より「マルチメディア活用学校間連携研究推進校」の指定を受ける
12 10	遠隔交流授業開始
13 4	町教委より「マルチメディア活用学校間連携研究推進校」の指定を受ける
11	自主公開研究会「情報通信ネットワークを生かした交流学习」を開催する
14 8	金管バンド県大会で銀賞受賞



児童生徒作詞・作曲コンクール（平成元年度）



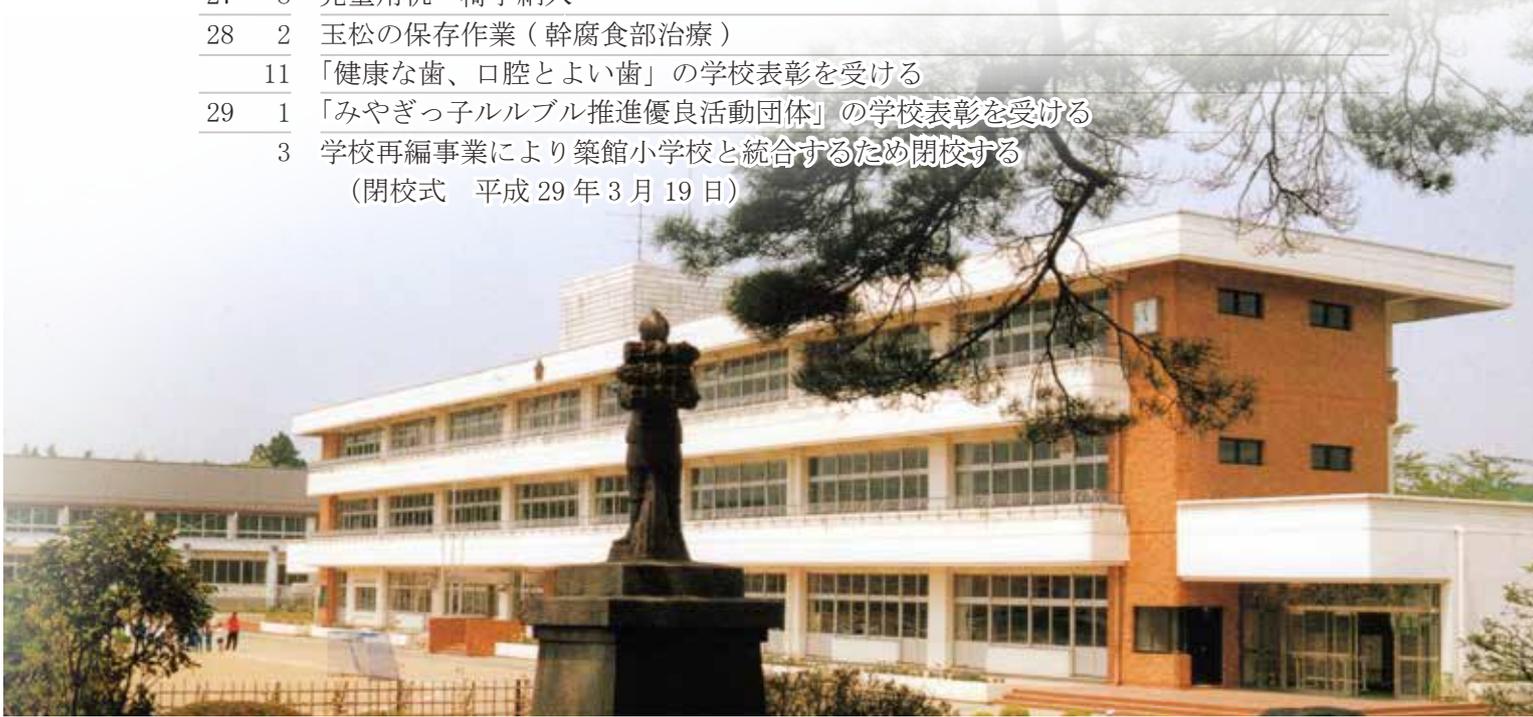
全日本吹奏楽コンクール宮城県大会 銀賞



10	宮城県家庭科研究大会栗原大会を開催する 自主公開研究会「情報通信ネットワークを生かした交流学习」を開催する
----	--



年月		沿革概要
平成	15	8 金管バンド県大会で二年連続銀賞受賞 開校 130 周年記念式典開催 (8 月 31 日) * 児童の発表 ・ 小学校での活動の様子 ・ 全校合唱 ・ 金管バンドの演奏 * 記念演奏会 ・ エレクトーン演奏 開校 130 周年祝賀会の開催 (8 月 31 日)
	16	1 記念誌「玉松とともに」を発行する
		8 金管バンド県大会で金賞受賞
	17	4 町村合併により栗原市立玉沢小学校となる
		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>全日本吹奏楽コンクール 宮城県大会 金賞</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>第 1 回栗原市小中学校音楽祭</p> </div> </div>
	18	4 特別支援教育推進事業推進校の指定を受ける
	20	6 岩手・宮城内陸地震（震度 6 強）のため、校舎内に被害 [6 月 14 日午前 8 時 43 分]
	21	8 金管バンド県大会で銀賞受賞 新型コンピュータ導入（職員・児童用）
	22	4 県教委指定学力向上サポートプログラム事業（国語科）
	23	3 東日本大震災のため、校舎内に被害有（3 月 11 日午後 2 時 46 分震度 7） 9 震災被害復旧工事（校舎、体育館、プール）
	24	4 県環境生活部指定愛鳥モデル推進校（2 年間）
	26	4 県教委指定学力向上サポートプログラム事業（算数科）
	27	8 児童用机・椅子納入
	28	2 玉松の保存作業（幹腐食部治療）
	11	「健康な歯、口腔とよい歯」の学校表彰を受ける
	29	1 「みやぎっ子ルルブル推進優良活動団体」の学校表彰を受ける 3 学校再編事業により築館小学校と統合するため閉校する (閉校式 平成 29 年 3 月 19 日)





学区の概要

本学区は、旧築館町の南東部に位置し、東西に長く、南西部は高原で、東部になるにしたがって低くなり白鳥の飛来地で知られる伊豆沼・内沼に続いている。

地形は、丘陵が起伏し、川は北西部の高原より発し低地を流れて、伊豆沼に注ぎ、田畑は川の流れに沿って開けている。水田の大部分は、沢田で、数多くの溜め池から用水を得ている。そして、その水域に760余りの民家が点在しており、農業を主たる職業としている。

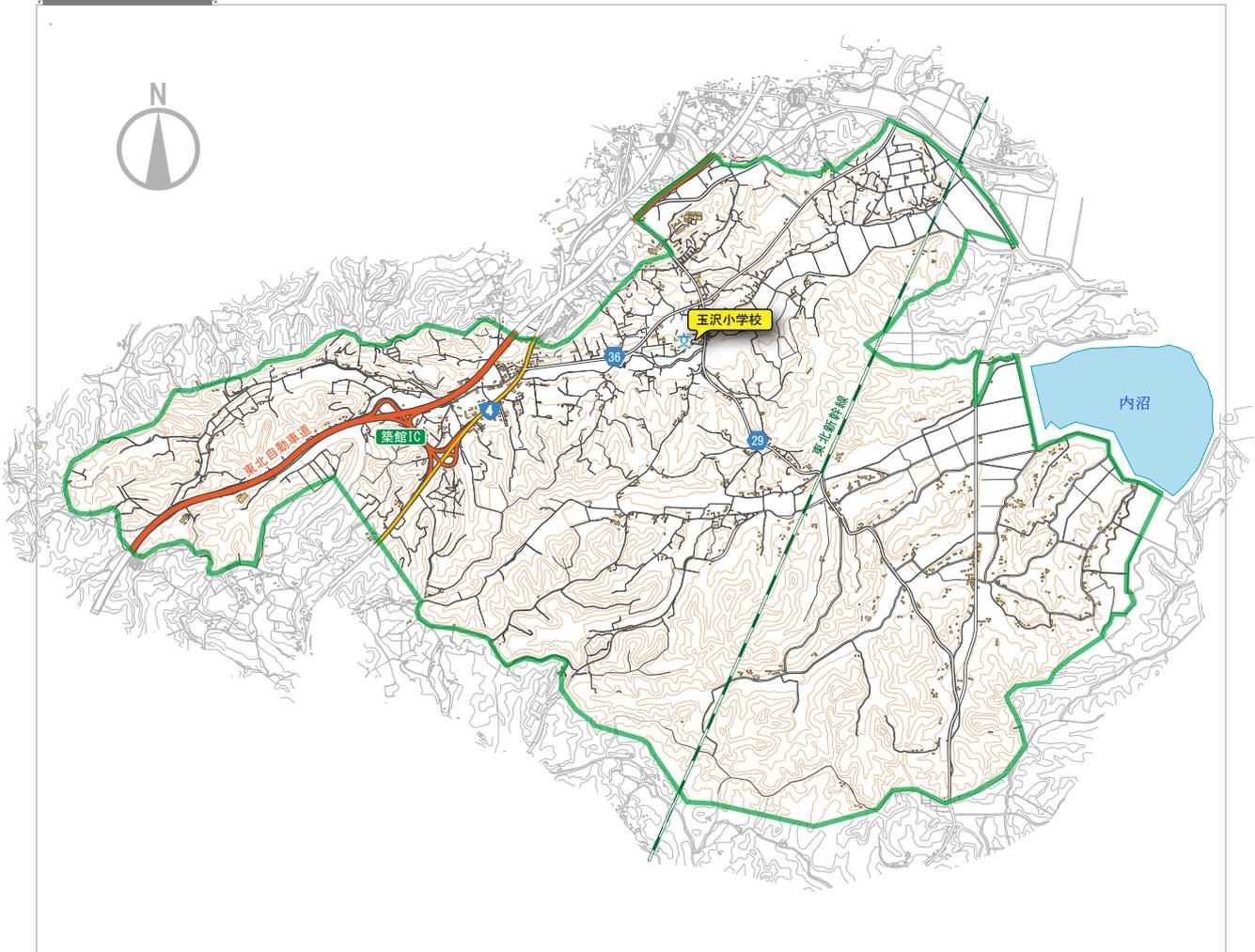
学校は、学区の北部よりに建ち、市役所まで約3kmと比較的近い。通学は、徒歩または自転車及び保護者の送迎によるが、瀬峰寄りの通学距離の長い児童は、定期バスを利用している。

学校周辺は、民家が少なく、緑に囲まれた静かな環境にある。近くに玉沢郵便局、築館警察署玉沢駐在所等の公共機関がある。

児童は明るく、素直で真面目である。地域住民は、人情味濃く、教育への関心が高く非常に協力的で、学校行事やPTA行事への参加率が高い。



学区地図



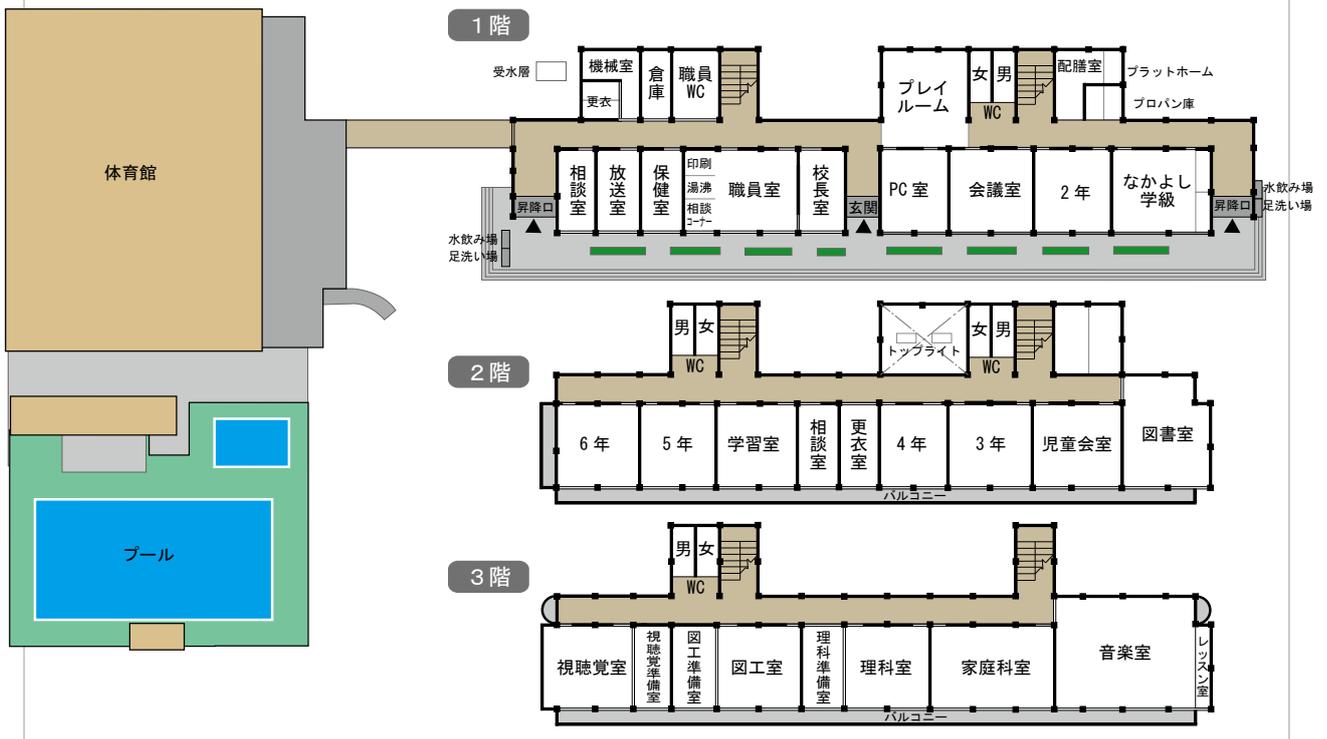


校舎のようす

学校平面図



校舎配置図

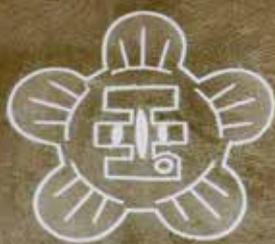




歴代校長

初代	木村 灌了 校長	大正 11 年 9 月 1 日～大正 14 年 2 月 3 日
第 2 代	金田 國三 校長	大正 14 年 2 月 4 日～大正 14 年度
第 3 代	鹿野 英吉 校長	大正 15 年度～昭和 3 年度
第 4 代	澤辺 繁治 校長	昭和 4 年度～昭和 5 年度
第 5 代	千田 大治 校長	昭和 6 年度～昭和 9 年 8 月 31 日
第 6 代	土居 文弥 校長	昭和 9 年 9 月 1 日～昭和 13 年 4 月 4 日
第 7 代	小野吉太郎 校長	昭和 13 年 4 月 4 日～昭和 15 年度
第 8 代	日野 文雄 校長	昭和 16 年度～昭和 19 年 2 月 29 日
第 9 代	小野寺 優 校長	昭和 19 年 3 月 1 日～昭和 20 年度
第 10 代	堀越 秀男 校長	昭和 21 年度～昭和 23 年度
第 11 代	鈴木 正男 校長	昭和 24 年度～昭和 26 年度
第 12 代	熱海 実 校長	昭和 27 年度～昭和 30 年度
第 13 代	千葉 長治 校長	昭和 31 年度～昭和 36 年度
第 14 代	高橋 功 校長	昭和 37 年度～昭和 38 年度
第 15 代	三浦 正志 校長	昭和 39 年度～昭和 41 年度
第 16 代	鈴木 正夫 校長	昭和 42 年度～昭和 43 年度

144年間ありがとう



玉沢小

2016



第17代	石母田 豪 校長	昭和44年度～昭和46年度
第18代	佐藤 一夫 校長	昭和47年度～昭和48年度
第19代	菅原 文雄 校長	昭和49年度～昭和54年度
第20代	中田 三雄 校長	昭和55年度～昭和58年度
第21代	千葉 文雄 校長	昭和59年度～昭和60年度
第22代	松田 哲郎 校長	昭和61年度～平成元年度
第23代	手島 慶男 校長	平成2年度～平成5年度
第24代	佐々木英二 校長	平成6年度～平成9年度
第25代	伊藤 宏 校長	平成10年度～平成12年度
第26代	大場 勝 校長	平成13年度～平成15年度
第27代	平野 兵悦 校長	平成16年度～平成17年度
第28代	千葉 雅夫 校長	平成18年度～平成20年度
第29代	阿部 仁 校長	平成21年度～平成22年度
第30代	佐藤 純一 校長	平成23年度～平成24年度
第31代	小野寺八重子 校長	平成25年度～平成26年度
第32代	當麻 哲 校長	平成27年度～平成28年度





歴代PTA会長

初代	堀越 秀男	会長	昭和 22 年度
第 2 代	藤田 規雄	会長	昭和 23 年度～昭和 24 年度
第 3 代	千葉 大栄	会長	昭和 25 年度
第 4 代	藤田 規雄	会長	昭和 26 年度
第 5 代	三塚 五郎	会長	昭和 27 年度～昭和 28 年度
第 6 代	寺嶋 精一	会長	昭和 29 年度～昭和 30 年度
第 7 代	佐藤 精一	会長	昭和 31 年度～昭和 32 年度
第 8 代	千葉 大栄	会長	昭和 33 年度
第 9 代	木川田 盛	会長	昭和 34 年度
第 10 代	加藤 種雄	会長	昭和 35 年度
第 11 代	千葉 観壽	会長	昭和 36 年度～昭和 39 年度
第 12 代	酒井 正智	会長	昭和 40 年度～昭和 46 年度
第 13 代	鎌田 毅	会長	昭和 47 年度～昭和 51 年度
第 14 代	大場 尚治	会長	昭和 52 年度～昭和 55 年度
第 15 代	佐竹 正規	会長	昭和 56 年度～昭和 60 年度
第 16 代	大場千亀男	会長	昭和 61 年度～昭和 62 年度
第 17 代	但木 光男	会長	昭和 63 年度～平成 3 年度
第 18 代	佐藤 孝夫	会長	平成 4 年度～平成 5 年度
第 19 代	高橋 正人	会長	平成 6 年度～平成 8 年度
第 20 代	佐藤 貞実	会長	平成 9 年度～平成 10 年度
第 21 代	藤田 恵士	会長	平成 11 年度～平成 12 年度
第 22 代	狩野 政広	会長	平成 13 年度
第 23 代	大場 照彦	会長	平成 14 年度～平成 15 年度
第 24 代	安蘇 政樹	会長	平成 16 年度～平成 17 年度
第 25 代	鹿野 稔	会長	平成 18 年度～平成 20 年度
第 26 代	晝八 達也	会長	平成 21 年度～平成 23 年度
第 27 代	佐藤 順子	会長	平成 24 年度～平成 26 年度
第 28 代	平野 友和	会長	平成 27 年度～平成 28 年度





## 充実した3年間

第26代校長 大場 勝

平成13年4月から3年間勤務させていただいた。私にとっては38年間の教員生活の最後の3年間であった。

純朴な子どもたち、協力的な保護者や地域の方々、目標に向かって頑張ってくれた先生方のお蔭で充実した教員生活を送らせていただいたことにまずは感謝しなければならない。「情報通信ネットワークを生かした交流学习」の公開研究会を開催し、他校の羨望の的になったことは、子供たちにとって大きな財産になったものと思われる。

翌年、宮城県家庭科研究大会でも公開授業等を提供し、前年に引き続き「ネットワークを生かした交流学习」を公開し、さらに幼稚園の研究会を小学生とタイアップした幼小連携を核とした公開研究会にし、1年間に3つの公開研究を成し遂げた子どもたちと先生方。そしてその都度ご協力をいただいたPTAの皆さんのお蔭で、玉沢小学校に一つの金字塔を建てられたことは、皆さんの誇りとするところと考えている。「発信できる子どもたち」の育成が中学になって開花し、高校でも活躍してくれたことは教師冥利に尽きる。



みやぎマルチメディアフェア  
(平成14年度)

平成15年7月16日に宮城県北部連続地震によって暖房設備のほとんどが天井から落下、二宮金次郎像が破砕、体育館・校舎にクラックができたが、幸いけが人は誰も出なかったことも忘れられない思い出となっている。

大人目線から子ども目線へと学校生活の見直しも図り、子どもにとってゆとりのある学校生活にするため2学期制の導入、ゆとり教育の充実(田植え再開も含む)、遊具の配置換え、幼小の垣根撤廃、小中の連携、玉松周辺の整備等手掛けたが、その評価については後世に委ねたい。

## 玉沢小学校の閉校に寄せて(在職当時の思い出)

第29代校長 阿部 仁

私が玉沢小学校にお世話になったのは、平成21年度～22年度の2年間です。

19名の6年生を中心に、目指す子ども像「思いやりのある子ども」「進んで学ぶ子ども」「やりぬく子ども」を目指して活躍していた子どもたちの、特にすばらしいと思うところをあげてみると、「ひたむきさ」と「優しさ」です。

「ひたむきさ」については、運動会、学習発表会、クロスカントリー大会等の行事はもちろんのこと、金管バンドや陸上教室・水泳教室等の活動を始め、様々な教育活動に最後までひたむきに取り組み、すばらしい成果をあげることができました。心身共にたくましく成長していく子どもたちの姿を見ることができたこと、本当に嬉しく思っています。



クロスカントリー(平成22年度)

「優しさ」については、いつも上級生が下級生のことを優しく思いやる姿がありました。委員会活動、クラブ活動、児童会活動や行事でも、とても優しいお兄さん、お姉さんでした。そうした6年生を中心とする相手を思いやる優しさが、楽しい玉沢小学校、一人一人が楽しい思い出をつくり出せる原動力となっていたのだと思っています。

ところで、決して忘れることのできない出来事があります。それは、3月11日午後2時46分に、観測史上最大の地震が襲った東日本大震災です。栗原市で記録した震度7の揺れから、子どもたち全員の身の安全は確保できたものの、避難した校庭は小雪が舞い散り、余震は気味悪い程続きました。子どもたちを先生方の車に分乗させて暖を取り、午後6時半過ぎに保護者へ全員引き渡すことができ





た時、全職員で安堵したのを覚えています。

その後しばらくライフラインが戻らず、余震も頻繁に起こっていたため、市教委の指示のもと、卒業式を簡素化し、在校生不参加の6年生だけの式となった光景が心に深く残っています。

子どもは、「家庭で育ち、学校で学び、地域で磨かれる」と言われます。「地域の宝」である玉沢小学校の子どもたちは、様々な困難にあったとしても、保護者や家庭、地域の皆さんや周囲の人たちの温かいまなざしに見守られ、健やかな成長を遂げることができるのだと確信しています。

今後も、新生小学校の発展を見守っていただき、変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げ、閉校に寄せての挨拶といたします。

### 永久(とわ)に心のふるさと玉沢小学校

第31代校長 小野寺 八重子

私にとって玉沢小学校は最後の学校であり、ひとしおの思いがあります。特に、子どもたちとの日々はかけがえのないものです。

「できる できる やればできる」いつもこの言葉を子どもたちと掛け合っていました。「自信がない」自己肯定感を持たない子どもたちが全国的にも多かった中、「努力をすれば自分もできる」成功経験を重ね、志気を高めてほしかったのです。子どもたちは、何事にも真剣でがんばりやでした。

日々の積み重ねは、様々な場面で花開き、特に「南部水泳大会女子リレー優勝」という快挙は、全員で歓喜にわきました。私は、ゴールの瞬間目が潤み、プールが歪んでいました。

二つ目は、PTA主催「親子ふれあい活動」です。「ジャンボ海苔巻き」の新記録更新に感極まり、午後の「夢風船」では、強風で木にひっかかり外した途端、「きっと夢は叶いますよ」と言ったかのように、勢いよく上空を飛んでいきました。校庭は拍手の嵐でした。それぞれの夢風船は、大空の彼方に消えていきました。

「親は子の鏡」という言葉があります。強い主体性を持ったPTAの姿勢は、他に類を見ない「日本一」と思います。それは、玉沢小学校を核に築き繋ぎ発展させてきた輝かしい伝統の上にあるとも見ています。培ってきた土壌で育まれている子どもたちは、今も「玉松」のようにぐんぐんと伸張しているものと確信します。

閉校に当たり、子どもたちにはどの地でも夢に向かい努力を重ね、花を咲かせてほしいと切に思います。玉沢小学校を巣立たれた方々は、小学校時代の原風景輝かしい日々が心に生き続けることを祈念しております。「玉沢小学校、ありがとう」





## 素敵な思い出ありがとう

元職員 菅原 眞知子

玉沢小学校といったら、玉松、こいのぼり、運動会、ジャンボ海苔巻きなど思い出されることが沢山あります。私にとって教職最後を過ごさせていただいた学校でもあり、感慨深いものがあります。

玉沢小学校在職6年間で子どもたちに、自分の健康に少しでも目を向けてほしく「すこやかな木」に取り組みました。お家の皆さんの協力と担任の先生のバックアップにより、子どもたちの変容が見られ良かったです。取り組んだ事を「ぼく・わたしの保健目標への取り組み」の個人ファイルに累積し、他に保健関係の物をポートフォリオし、卒業する時にメッセージを添えてプレゼントしてきました。

母子手帳に引き続き、健康の事が分かるファイルにしていってください。

伝統のある玉沢小学校が閉校になるのはとても寂しいものがありますが、私の心の中には一緒に過ごしたみなさんがいます。沢山の素敵な思い出をありがとうございました。



ジャンボ海苔巻き

## 玉沢小の「旅立ちの時」に寄せて

元職員 木村 恵里香

平成14年、当時情報教育に力を入れていた玉沢小に赴任しました。衛星回線を介したテレビ会議は時差があり、海外と話しているような感じでした。

和歌山県の有功東小学校との交流で教わった「安珍清姫」という昔話を学習発表会で劇にしました。台本や照明、効果音、大蛇の動きに至るまで、子供たちと一緒に作り上げたことは、今でも忘れられない思い出です。

翌年、開校130周年式典が行われました。プロの方の壮大なエレクトーン演奏を伴奏に、「旅立ちの時」を全校合唱しました。

その後、郡の音楽祭にも全校で参加しようと職員室で盛り上がり、それまで金管バンドのみの参加だった音楽祭に、全校合唱でも参加するようになりました。また、金管バンドの担当として、子どもたちから多くの感動をもらいました。先輩が後輩に自然に教えながら、朝と放課後、毎日こつこつ練習していました。これぞという音が響いた時には、指揮をしながら鳥肌が立ったものでした。

吹奏楽コンクールの県大会で、金賞1回、銀賞3回、銅賞1回をいただきました。

玉沢小の子どもたちの素直な演奏が、会場のみなさんの心に伝わったのだと思います。



まだまだ思い出を語れば尽きることがありません。

素直で明るい玉沢小の子どもたちの笑顔。いつまでも心に焼き付けておきます。

全日本吹奏楽コンクール  
宮城県大会  
(平成21年度)





### 玉松、元気かなあ。

上照越地区 狩野 政広

歴史や思い出がたくさん詰まった母校が閉校するのはとても寂しい事です。私の家では親子三代にわたりお世話になりました。私自身、47年前に入学した当時の学校の姿が今でも鮮明に思い出されます。



また、子どもたちが入学してPTAに携わった日々も忘れる事のできないものです。

特に、在校中には校舎の脇にそびえ立つ「玉松」の下で、授業では絵を描き、休み時間や放課後はきまって友達と遊んでいた事は本当に大切な思い出となっています。

その後は、学校のシンボル「玉松」の手入れをするなど何かとかかわっていたような気がします。学校の近くを通る度に、「玉松、元気かなあ。」と心配するのは私だけではないでしょう。同窓会で友人たちに会えばすぐにその年代に戻り小学校時代の話に盛り上がります。その沢山の思い出が私たちの中で消える事はありません。

「玉沢小学校」は、卒業生、地区の人々の心のよりどころとして永遠に語り継がれていってほしいと願っています。

### 『玉沢っ子、元気です』

上照越地区 伊藤 悠杏

6年間、あっという間でした。

ちびっ子の僕は、いつも、整列の一番前を競ってました。

6年間で身長が35cm伸びました。

6年間、運動会は、赤組・白組で、準優勝でした。

6年生では、白組の応援団長をしました。

優勝した赤組は、身長差30cm高い、らい君でした。

6年間、担任の先生は女性でした。

たかこ先生、まちこ先生、ゆきえ先生、えりこ先生、いっぱいお世話になりました。

ありがとうございました。

6年間、水泳を頑張りました。

オリンピックを夢見て、毎日練習をしました。

遊びたかったり、やめたかったり、嫌だったりしましたが、全国大会に出場したときは、とても嬉しくて、舞い上がりました。

6年間、同級生たちみんなと成長しました。

勉強して、遊んで、喧嘩もして、泣いて、そして、いっぱい笑いました。

みんな、『元気ですかっ』

僕は、『元気ですよっ』



運動会



水泳大会



## 子どもたちの声に励まされ

中照越地区 藤岡 今子

私の家は玉小前のお店で、私が店番をするようになって早いもので30年位になりますが、その頃の玉小の児童は人数も多く、登下校時は賑やかな声が響いて、こちらまで元気がもらえたものです。

ピカピカの1年生だった子も中学から高校と成長し、「おばちゃん」と言って寄ってくると嬉しかったものです。それがいつのまにか子どもさんを連れてお店に見えて驚くこともありました。

平成29年3月で閉校と聞いてはいましたが、まだまだ先のことと思っていたので、いよいよ子どもたちの声が聞こえなくなるのかと思うととても寂しい気持ちです。



旧校舎

## すごかった!玉沢小水泳陣

中照越地区 渋谷 健一（昭和55年度卒）

玉沢小学校閉校にあたっての寄稿文を依頼され、当時の記憶を呼び起こそうと悩んでいたところ、リオオリンピックでの日本水泳陣の活躍を見て記憶が蘇りました。

私が小学校6年の時は、水泳や陸上を熱血的に指導してくれる先生たちがいて、有無を言わずクラス全員が運動部員のような感じでした。中でも水泳は、夏休み期間中に行われる3つの水泳大会に向けて、プール開き以降はほぼ毎日、放課後に長時間泳がされたものでした。

中には合唱部と掛け持ちの人もいたのですが、合唱コンクールをあきらめ水泳に専念するという苦渋の決断もしました。

そこまで集中して臨んだ大会では、児童数は少ないものの、郡の南部大会では2位、郡大会は1位と接戦の末、惜しくも2位と言う結果でした。

当然ながら、夏休み明けは、全員真っ黒だったことが、今でも懐かしく思い出されます。



南部水泳大会





### 空の下でみんな繋がってる

中照越地区 田宮 亨瑠

玉沢小学校では、友達や先生、地域の方など多くの人にお世話していただきました。思い返すと、両親の力がすごかったと思います。

運動会や学校行事など、両親の応援があったり、一緒に行事を楽しんだりして、かけがえのない時間をくれました。

私事ですが、金管バンドやスポ少、学業を両立できたのは両親がいてくれたからでした。仕事が忙しい中でも送迎や夜遅くまでの練習も応援してくれたからこそ勉強も習い事も頑張っていました。

今では両親や友達と会う時間が少なくなってしまいましたが、玉沢小学校で過ごした時間があったから「自分が一人ではない、みんながいる。」と感じられ頑張っています。

そして、これからも私の大切な思い出であり続けます。



運動会（平成5年度）

### 玉沢っこの躍動いつまでも

下照越地区 佐竹 正規

私が小学生の頃、奉安殿（緑ヶ丘）に流れるような枝振りの笠松（玉松）、二宮金次郎の薪を背負い本を読む姿像がありました。

木造平屋ではあったが温もりのある校舎、素晴らしい環境で勉強してきました。運動会、学芸会等を通して多くの絆を育んで来ました。玉沢地域のあらゆる面の中心であり、心の寄り処でもあります。このような学校が地域から姿を消す事は寂しい…。

現在の校舎は昭和59年に近代校舎に生まれ変わりました。改築直後の校庭は石が散乱、表面も固く、子どもたちが運動するには最悪状態でした。当時の千葉文雄校長がこれでは子どもたちの能力が発揮できないとPTAに相談、PTAではグラウンドの弾力化を図り、子どもたちは全員で石拾いをしてグラウンドが蘇りました。

陸上競技では、赤いユニホームに替え、他校に劣らぬ成績を残すようになり「玉沢っこ」は躍動しました。

PTA、地域が一丸となり子どもたちの成長を見守り続けています。

『これからも頑張れ、玉沢っこ』



校庭整備（昭和59年度）



PTA 奉仕活動



## 感謝

下照越地区 高橋 正人

玉沢小学校には緑ヶ丘があります。昭和30年代の男子の遊びのパタンコ打ちや玉っ子打ちは、いつもこの緑ヶ丘でした。

休み時間や放課後には、大きな松の木の下で友達と夢中になって遅くまで遊んだものです。

確か小学6年生の冬だったと思いますが、担任の鈴木宏志先生が相撲をやろうとおっしゃって、学級番付表をみんなで決めて学級冬場所を行いました。緑ヶ丘の横で、みんなで勝ったり負けたりワイワイ楽しい時でした。今思えば、先生の学級づくりの一環だったのかもしれませんがね。

農村部である玉沢地区では、地域のみんが学校を大事に思い、学校行事などに対する協力は惜しみませんでした。

我が家でも5世代にわたり、通って学び、友達との思い出を育んだ大切な学び舎です。

私の心に残る数々の玉沢小学校の思い出を子や孫たち、そして地域の皆さんと語り続け、大切にしていきたいと思います。



ふるさと遊び大会（昭和62年度）

## 校歌

下照越地区 安蘇 政樹

とうとう玉沢小学校が閉校になると聞いたとき、咄嗟に頭をよぎったのは、学校が無くなっても無くならないものは何だろう？ということでした。そして、思い当たったのは校歌でした。

「丘あり野あり 家ありて・・・」で始まり、思い返してみれば「希望も高き栗駒」や「心も広き伊豆沼」など、身近な地物になぞらえながら、人の生き方が表されていることに気がきます。「耕す土の幸多く」は、堅実に働く酬いは少なからずあると教え、さらに「町の誉れの人たらん」と生きよ、と諭しています。

作詞は白鳥省吾先生。郷土を担う子どもたちへ託す思いを感じます。

卒業生として、校歌に思いを致しその教えを意識し続けることで、玉沢小学校は自分の中から無くならないと思いました。



稲刈り





## ありがとう 玉小!

下照越地区 田崎 昌子 (昭和63年度卒)

私が入学した当時は、現在の校舎ではなく木造の校舎で、隣に現在の校舎を造っていました。2年生になってからは、現在の校舎に移動し、机と椅子を運んだ時、すごく綺麗だと思いました。

玉小では、陸上・水泳の練習が多かったです。各大会に出場し、嬉しかった事、悔しかった事、多々ありましたが、他校の同級生とも友達になれたので、中学で会えた時は嬉しかったです。

正直、玉小が無くなるのは寂しいです。少人数でも残ってほしかったです。多分、卒業生、皆様が同じ想いだと思います。

今でも幼稚園からの友達、玉小に入ってからの上級生、下級生の方達は大切な友達に変わりはありません。

幼い頃からの心から分かり合える友達だと思っています。そんな友達を作れた玉小に本当に感謝！  
助けていただいたご近所の皆様に感謝！ 本当にありがとうございました。



旧校舎

## 閉校に思う

八沢地区 三塚 牧夫 (昭和37年度卒)

父、叔父、弟、妹、子が通った玉沢小学校。息子が入学した昭和60年頃の新生活は私たち時代の3分の1となっていたが、閉校につながるなどとは思いませんでした。

親の跡を継ぎ稲作をしながら自然に恵まれたこの地で生活してきたが、この先どうなのか予測できない。改めて、学校の存在自体が大ききよりどころになっていたことに気づき、感謝するばかりである。

思い出されるのは、6年の時の宮城県北部地震で緑ヶ丘に避難した時の恐怖である。あとは、不安などみじんのかげらもなく、野山や川に入り、駆け回り遊んでいた毎日だった。

息子は今の校舎が落成した年に入学した。校歌を教えたら上級生と違うと言われた(笑!)校歌については今年4月に逝った母が家中で一番しっかり歌っていた。『歌う』ことと全く無縁の農作業尽くしの母が4人の子の在学13年間に覚えたのだろう。

校歌に謳われた美しい環境を、協力して守っていきたい。



遠足 (昭和60年度)



## 耳を澄ませば

八沢地区 千葉 克哉（昭和51年度卒）

小学校にはいつもステキな音楽が溢れていました♪今でも唱歌などを耳にすると当時の懐かしい光景が鮮やかに蘇ってきます。

一番歌ったのはやっぱり「校歌」でしょう。でも私は「丘あり野あり家ありて」を「おかわりもあ〜り〜♪い〜え〜ありて〜♪」とずっと思い違いをしていました（私だけ?）…。

つまり「おかわりをする元気な子どもの家が、玉沢にはたくさんありますよ♪」と…でもソレも当たってますよね（笑）。



旧校舎

私は「沢」の字を書くときは、旧字体の「澤」をよく使います。だってソコには「幸せ」と入っているから♪

玉澤小学校の学び舎で過ごせた6年間はまさに幸せなひとときでした。

玉澤の丘を目にしとき、耳を澄ませば…子どもたちの元気な笑い声とステキな歌声が、心の中にずっとずっと響き渡るはず♪

たくさんのステキな思い出ありがとう♪

## 玉沢小学校に感謝、そしてありがとう

太田地区 石川 正運（昭和31年度卒）

太田分校から5年生で本校である玉沢小学校へ移った。運動会、学芸会等で本校に行くだけだった私には、本校がマンモス学校に思えた。木造で黒い校舎が大きく、当時は同じ敷地内に玉沢中学校も一緒に、休み時間には校庭に小、中学生1000人以上が入り混じりで遊んでいた。同級生がどこにいるか探すのが大変なくらいの賑わいだった。

緑ヶ丘の玉松の根元でビー玉遊びや、秋になると冬用のストーブの薪を全員で山に行つて集めたり、自然を通して友情を深めたりした気がする。

5年生で本校に入学。転校生のようなもの。134人もの同級生の名前、顔を覚えることから始まり、学校に慣れる事でいっぱいいっぱい、あっという間に小学校の卒業だった。

太田から通学には1時間かけての登校。帰りは皆一緒にまた1時間。それでも楽しい通学路。私の教育の始まりが玉沢小学校。

感謝、そしてありがとう。



授業の様子（昭和36年度）





## 玉沢小学校を通して

太田地区 晝八 達也

私は、子どもの頃バスで通っていました。いつも、帰りのバス時間を待っている間、木造校舎前の校庭で、三角ベースや八の字の陣地取り遊びをよくしていました。

遊びに夢中になりすぎてバスに乗り遅れ、4 km位の道程を度々歩いて帰ったことが、なぜか、思い出しては懐かしく感じています。

それから、いつも遊んでいた「緑ヶ丘」は、当時もっと広く感じたものでした。

あれから40年近くが過ぎ、自分が通っていた玉沢小学校に、自分の子供が入学し、卒業したことが、当たり前のことですが嬉しく思っていました。

PTA活動にも参加させていただき、今度は玉小に通う子どもの親として「運動会」や「親子ふれあい活動」など、先輩方が育んできた行事を「玉沢らしく」みんなで取り組み、子どもを通して楽しむことができました。

玉沢小学校があったからこそ味わうことが出来た、私の人生の中の大切な2ページでした。

長い間「ありがとう」玉小。



学年PTA



親子体育大会

## ありがとう！！ 玉小そして玉松

太田地区 石川 美和（平成10年度卒）

私の玉沢小学校での思い出はここには書き出せないほどあります。とにかく在学6年間は、いろいろな事ひとつひとつが私の大切な思い出になっています。

運動会で裸足で踊ったソーラン。1年生から6年生まで混じった縦割りグループで学校からいこいの森まで歩いて行った事、初めて親から離れ、先生と同級生だけで過ごした花山宿泊学習。本当に沢山の思い出。

私が楽しく過ごせた小学校時代、それもこの玉沢小学校があったからこそできた良い思い出です。

そんな良い思い出を作ってくれた玉沢小学校に娘も入学し、玉沢小学校最後の卒業生になろうとしています。

親子で玉沢小学校で沢山の思い出を作れてとっても幸せです。

玉沢小学校が無くなっても私の中から玉沢小学校、そして思い出は消える事はないです。

144年間、私たちにたくさんの思い出を与えてくれて、ありがとう玉沢小学校。

少し高い所から見守ってくれ、つつんでくれた玉松の木、本当にありがとう。



花山宿泊学習



## 玉沢小学校。繋がる。

太田地区 菅原 麻里

玉小を卒業して10年近く経ちました。自分の記憶が薄れていく中でも、最近まで弟が玉小に通っていたので、玉小の話題は結構身近なものでした。

まず、私が玉小で頑張ったなあと思える事、それは金管バンドです。4年生から6年生までホルネットを担当しました。

コンクールでのあの緊張感、そして少人数ならではの綺麗なハーモニーと講評をいただき、金賞を取ったときのあの喜びは忘れられません。

やはり、玉小といえば繋がりですね。

私は今、市内で仕事をしています。そこへ地区の方や同級生のおじいちゃん、おばあちゃんがいらした際「麻里ちゃん！」とにこやかに声をかけてくださいます。そういう温かい繋がりを作ってくれた玉沢小学校に感謝しております。

P. S 玉沢小学校、沢山の思い出を本当にありがとう！！ 菅原家一同



## 玉沢小学校での思い出と将来の夢～2年

わたしの玉小での思い出は、うんどう会です。去年のうんどう会では、「ワンピース」のダンスをおどりました。今年のうんどう会では、全校で玉小ソーランをおどりました。こしをおろしてかっこよくおどれてよかったです。わたしのしょうらいのゆめは、「ピアノの上手なようちえんの先生」か「すぐになおしてあげられるかんごしさん」のどちらかになりたいです。ゆめがかなえられるように、にがてなべんきょうをがんばりたいです。

ぼくの思い出は、作文みやぎのしんさ会で県しんさにいったことです。ぼくは、おたん生日のことを書きました。うれしかったです。もう一つはうみの杜水ぞくかんで、イルカショーを見たことです。はく力まんてんですごかったです。ぼくのしょうらいのゆめは、ケーキやさんになることです。おいしいケーキを作りたいです。みんながよろこんでくれるケーキを作れるようにがんばります。築館に自分のお店をオープンさせたいです。

ぼくの玉小での思い出は、今年の遠足です。みんなでうみの杜水ぞくかんに行ったことです。大きいサメがいました。ペンギンもいました。アシカショーもおもしろかったです。またいつか、みんなで行きたいと思います。ぼくのしょうらいのゆめは、水道やさんになることです。そして、こまっている人がいたらたすけてあげられるやさしいひとになりたいです。築小に行ったら、友だちをいっぱいつくりたいです。



今年の遠足では、うみの杜水ぞくかんに行きました。お母さんの作ってくれたおいしいおべんどうが食べられてうれしかったです。おいしくてたまりませんでした。1年生の時も、2年生になってからも玉小の遠足は楽しかったです。わたしのしょうらいのゆめは、「やさしいお母さん」になることです。「ゆめがかないますように」とねがいをこめて、地いきふれあいかつどうの時にゆめ風せんをとばしました。

ぼくの思い出は、うんどう会です。ときよう走では、2いになりました。一生けん命に走ったんだけど、かづきさんをおいこすことができませんでした。だから、らい年こそ、かづきさんをがんばっておいこして1いになりたいと思います。築小には足のはやい人がいっぱいいると思うけどがんばります。ぼくのゆめは、うまいサッカーせん手になってかつやくすることです。みんなよりもシュートをたくさんきめたいと思います。

ぼくの思い出は、今年の遠足です。イルカショーとアシカショーのパフォーマンスがすごくおもしろかったです。ぼくは遠足の作文を書いて、「作文みやぎ」のしんさ会で入せんしました。りっぱなしょうじょうをもらってうれしかったです。ぼくのしょうらいのゆめは、いっぱいホームランをうつ野きゅうせん手です。いつかホームラン王をとりたいです。そのために築小に行ったら、友だちと休み時間にいっぱい野きゅうをして遊びたいです。



仙台うみの杜水族館

わたしの玉小での一番の思い出は、えん足です。さいしょは船にのって海をながめました。船の2かいからは、たくさんのしまが見えました。つぎにうみの杜水ぞくかんへ行きました。まんぼうがとても大きかったです。イルカショーも見ました。イルカたちが高くジャンプしたところがすごかったです。2年生から4年生のみんなで行けて、とても楽しかったです。わたしのしょうらいのゆめは、かんごしさんになることです。

ぼくの玉沢小学校の思い出は、運動会です。1, 2年生の時は、ぼくの組が勝ってうれしかったです。でも3年生の時だけ負けてしまい、くやしかったです。玉沢小学校さい後の運動会をみんなで楽しくできてよかったです。ぼくのしょう来のゆめは、サッカーせん手になることです。ぼくは、サッカーで勝って日本中のみんなをよるこばせたいです。そして、ぼくもよるこびたいです。しょう来のゆめにむかってはばたきたいです。

ぼくの玉沢小学校の思い出は、遠足です。ぼくは、うみのもり水ぞく館の中に入ってイルカやペンギンを見ました。イルカショーを見たとき、イルカが高くとんですごかったです。ぼくは、ペンギンをさわりました。ペンギンをさわったらさらさらしていました。2つ目は、船にのったことです。船のデッキから海を見て気もちよかったです。しょうらいのゆめは、サッカーせん手になることです。ゆめにむかってがんばりたいです。

ぼくの玉沢小学校の思い出は、遠足と地いきふれあい活動です。遠足では、うみの杜水ぞく館に行って、イルカを見たり、アザラシを見たりして楽しかったです。松島からしおがままで、はじめて船にのったこともいい思い出です。

地いきふれあい活動では、楽しいゲームができてよかったです。

しょうらいのゆめは、けいさつかんと野球せん手です。悪い人をつかまえたり、野球せん手になって日本一になりたいです。



ぼくが玉沢小学校で楽しかったことは、遠足で船にのったことです。のって気もちよかったですのでまたのってみたいです。ほかに田うえやいねかりができて楽しかったです。ほかにヒップホップダンスで、シャボン玉がたくさん出てきておもしろかったです。

ぼくは、大きくなったらおすし屋さんになりたいです。おすし屋さんになっておいしいおすしを作りたいです。

わたしの玉沢小学校の思い出は、遠足で船にのったり、うみの杜水ぞく館に行ったりしたことです。船では、船のデッキに出て、海を見ました。うみの杜水ぞく館では、イルカショーを見ました。イルカはすごく頭がよくてトレーナーのことを聞いてすごかったです。わたしのしょうらいのゆめは、デザイナーです。いろんな服をデザインしてかわいい服を作りたいです。

ぼくの玉沢小学校での思い出は、音楽さいでいろいろな曲を聞いたり歌ったりしたことです。ぼくは音楽がにがてでしたが、音楽さいで、いろいろな曲が聞けたりしたことが一番心にのこっています。ほかにむずかしい曲も歌って音楽がすきになりました。だから、しょうらいのゆめは、音楽の先生になっているんな曲を聞いたり、聞かせたりしたいです。またその曲も歌ったり、むずかしい曲も歌ったりできるようになりたいです。

ぼくの玉沢小学校の思い出は、遠足で、はじめて船にのったことです。船のデッキで海をながめたとき風が気もちよかったです。水ぞく館でイルカショーを見たり、ペンギンにさわったりして楽しかったです。とても楽しい遠足でした。しょうらいのゆめは、大工です。こわれている所をなおしたいです。



## 玉沢小学校での思い出と将来の夢～4年

ぼくの一番の思い出は運動会です。その理由は最後の玉沢小学校の運動会で、いろいろな地区からたくさん人が来ていて、みんないろんな競技に参加していたからです。ソーランをおどって、いっぱい手をもらいました。ぼくのしょうらいの夢は自衛隊員になることです。その理由は、ジョブキッズで自衛隊の仕事を経験したら、いろいろな道具の使い方をおぼえられたからです。人命救助をして日本人や他の国の人も救ってみたいです。

ぼくの玉沢小学校の一番の思い出は3つあります。1つ目は4年生の運動会です。白組が勝ったのでうれしかったです。2つ目は水泳です。水泳大会や水泳記録会で25m泳げました。3つ目は地いきふれあい活動です。運動をいっぱいしました。その後に、のりまきととんじるを食べました。とてもおいしかったです。ぼくの夢は桐生選手みたいに足が速くなることです。そしてオリンピックに出て金メダルをとりたいです。

私の玉沢小学校での一番の思い出は、南部水泳大会です。私は4種目に出ました。その中で、50メートル背泳ぎで2位をとれたことがうれしかったです。もっとうれしかったことは、4年自由形で1位をとれたことです。表しよう台のてっぺんは、気持ちよかったです。私のしょうらいの夢は、ホッケーの三橋亜記選手みたいなオリンピック選手になることです。オリンピックではドリブルシュートで点を入れられるように、がんばりたいです。



私の玉沢小学校での楽しい思い出は、音楽祭です。3年生の時に歌った「会えない時も」と「心の中にきらめいて」が大好きです。「心の中にきらめいて」は、「あの日歌ったメロディーずっと私は忘れない」という歌詞から始まります。やさしい気持ちで歌えるからです。私のしょうらいの夢は、かんごしです。理由は、いろいろな病気の人を助けたいからです。お母さんとおばちゃんとおばあちゃんがかんごしをしていたから私もやってみたいと思いました。

ぼくの玉沢小学校での思い出は2つあります。1つ目は幸之助で焼肉を食べたことです。おいしいお肉を食べられて良かったです。2つ目は地いきふれあい活動です。みんなで75mのジャンボのりまきを食べたり、夢風船を飛ばしたりして楽しかったです。ぼくは、自分の夢を発表しました。ドキドキしました。ぼくのしょうらいの夢は、新幹線の運転士です。安全に気をつけて運転したいです。みんなの役に立ちたいです。



私の玉沢小学校での思い出は、玉松の絵をかいたことです。理由は、玉松は私にとって玉沢のシンボルのようなものだからです。4年生のみんなと玉松の木の下で絵をかいたことが、わすれられない思い出です。しょうらいの夢は、ネイリストになることです。ジョブキッズで、ネイルサロンを体験したときに、ネイリストになろうと思いました。私は、いろいろな人に「きれい。」といってもらえるようなネイリストになりたいです。



二分の一人式（平成28年度）

私の玉沢小学校の思い出は、2つあります。1つ目は、幸之助で焼き肉を食べたことです。幸之助まで歩いてつかれましたが、冷たいジュースや漢方和牛を食べておいしかったです。2つ目は、地いきふれあい活動です。今年で最後だったので、楽しかったけど悲しかったです。新しい学校でもやりたいです。私のしょうらいの夢は、ようち園の先生になることです。えい子先生と佐々木先生のようにやさしいようち園の先生をめざします。

私の玉沢小学校での思い出は、地いきふれあい活動です。最後のふれあい活動では、75mのジャンボのりまきをみんなで作りしました。とてもおいしくて思い出になりました。私のしょうらいの夢は、美容師になることです。小さいころからの夢なので、いっぱい練習してお客さんに喜んでもらえるような美容師になりたいです。つらいことがあっても、明るく元気ががんばりたいです。ぜひみなさんわたしの店に来てください。

ぼくの玉沢小学校の思い出は3つあります。1つ目は、水泳大会です。最後の水泳大会で、背泳ぎで1位を取ってよかったです。2つ目は、初めてかまを使っていねかりをしたことです。3つ目は、地いきふれあい活動です。夢風船を高く飛ばせてよかったです。ぼくのしょうらいの夢は、水泳でオリンピックのリレーの選手になることです。ぼくは、萩野公介選手みたいに水泳がうまくなって、オリンピックに平泳ぎで出場してメダルをとりたいたです。



## 玉沢小学校での思い出と将来の夢～5年

僕の玉沢小学校での思い出は田植えと稲刈りです。5月に田植えをしました。どろんこになりながらも必死に植えました。9月に稲刈りをしました。ずっとこしをかがめて稲を刈るのはとても大変でした。そして将来の夢は、内科の医者です。2年生の時におじいちゃんが病気で亡くなり、人の死の重みを初めて感じ、家族にはもう悲しい思いはさせたくないと思い、医者を目指します。家族のためにもがんばろうと思います。

私の今までの玉沢小学校での思い出は、1年生の時の初めての学習発表会。「にんじゃへの道」では、どきどきしました。2年生では、淳一先生と今の5年生で、テラスで給食!!おいしかったです。3、4年生では、工藤先生のポケにつっこみ練習。(これって必要なのかな?) 5年生では花山でみんなで協力してできたことです。そしてこの思い出いっぱいの玉沢小学校で見つけた将来の夢は、世界一の雑貨デザイナーになることです。

玉沢小学校との思い出は、花山宿泊学習です。沢登りでは流れが強い所で遊んだり、石をめくって生き物を見つけたりしました。ナイトハイクでは花山の自然を楽しみ、野外炊飯ではおいしいカレーを作り、めったにできない焼き板作り...いろんな体験ができました。玉沢小学校には思い出がいっぱいです。私の夢は、有名な本でれんさいを書けるマンガ家になる事です。有名なマンガ家になれるようにがんばりたいです。

### 花山宿泊学習(平成28年度)



一番楽しい思い出は、花山宿泊学習です。カレー作りでは、火に気をつけて肉や野菜を入れました。かまどでごはんをたきました。ナイトハイクでは大きな声でうら声で歌ってこわさをふきとばしました。ナイトハイクは最高でした。楽しかったです。キャンドルサービスのスタンツでそうたさんとダンソンをしてもり上がりました。ぼくのしょうらいの夢は、サッカー選手です。練習をがんばりたいです。築小に行ってもがんばりたいです。

ぼくの思い出は花山です。1日目は、みんなでカレーを作って食べました。おいしかったです。そして探検で写真にのっている物をさがしました。2日目は、沢登りです。楽しかったです。と中の道がとてもスリルがありました。けど昼ごはんがおそくなりました。そしてついに3日目です。その日は焼き板をしました。火のそばだったのでジャージが熱くなりました。でも焼き板ができました。ぼくの将来の夢は、サッカー選手です。

わたしの思い出は、花山宿泊学習です。どの活動もとても楽しかったです。野外炊飯やキャンドルサービス、沢活動も楽しかったです。全校の田植えや稲刈りも思い出に残っています。どろだらけになりながらしたのも楽しかったです。みんなで協力してできて、はやく終わりました。田んぼの仕事をしたのが、楽しくて思い出に残りました。わたしの将来の夢は、学校の先生になることです。優しい先生になりたいです。



田植え（平成28年度）

いちばん思い出に残ったことは、花山宿泊学習とふれあい活動です。花山では、カレーを作ったり沢のぼりをしたり、ソトどこオリエンテーリングやキャンドルサービスをやって楽しかったです。ふれあい活動では玉沢地区の人がいっぱい来て玉入れやピンポン玉リレーをやって楽しかったです。お昼には、のりまき作りをしてとんじるといっしょに食べました。将来は、料理人になることが夢です。

私の一番の思い出は、花山宿泊学習です。1日目は、ナイトハイク、ソトどこオリエンテーリング、2日目は、沢活動、キャンドルサービスでした。キャンドルサービスは、築小といっしょにやりました。3日目は、花山最後の日、焼き板を作り思い出にしました。楽しかった。野外炊飯もおいしかったです。私の夢は、看護師になることです。理由は、人を助けて笑顔をふやしたいからです。笑顔がふえれば家族の人も安心できるからです。

私の思い出は、花山宿泊学習です。1日目にはカレー作りをしたり、ナイトハイクをしました。2日目は沢登り、3日目には焼き板作りをしました。3日間の思い出をこめて作りました。みんなで協力し合い、たくさん笑い合いました。また行きたいです。私の将来の夢は、教師になることです。いつも笑顔でいられる環境をつくり、楽しめるクラスをつくりたいです。

花山宿泊学習で2泊3日、12人で過ごして、楽しいことがいっぱいありました。ソトどこオリエンテーリングでベニシダという葉やミズ、沢にはオタマジャクシがいました。いろいろな花や葉、木があって自然っていいなあと思いました。将来の夢の花屋さんになるためにがんばろうと花山でも思いました。もっと自然の花や葉、木が知りたいなあと思いました。

ぼくの思い出は花山の事です。ソトどこオリエンテーリングでは、ぼくは遥菜さんとけんかをしましたが、後で仲なおりをして再び、さがしました。ごほうびにみ先生にあめをもらえてうれしかったです。沢登りの時雨が降っていて少し水が冷たかったけど、とても楽しくて寒さなんてわすれてしまいました。とても楽しかったです。ぼくの将来の夢は大工になることです。大工になって家を建ててみんなによるこんでもらいたいです。

私の玉沢小学校の思い出は、1年生から5年生のげき「にんじゃへの道」や「アイウエオリババ」「猫の島」「じごくのそうべえ」そして「銀河鉄道の夜」さまざまな物語をしたこと。運動会で4勝1敗のこと、水泳では50m泳げるようになったことです。花山では、やったことのない体験をたくさんしました。玉沢小学校にしかない地域ふれあい活動でよりみんなと仲を深められました。私は、将来優しい獣医になりたいです。

## 玉沢小学校での思い出と将来の夢～6年

私の玉沢小学校での思い出は、修学旅行と地域ふれあい活動です。修学旅行では、自主研修でバスが来なかったこともあったけれど、夜にみんなとこわい話やおもしろい話をしたのが楽しかったです。地域ふれあい活動では、のり巻きをおいしく作れたし、風船をとばして楽しかったです。私は風船にまんが家になりたいと書いたし、将来の夢はまんが家なので、もっとたくさんおもしろい絵をかいて、おもしろいまんが家になりたいです。

ぼくの1番の思い出は、学習発表会です。

特に5年生のときの劇でやった「花山探検隊」です。漫才をやってみんなに喜んでもらったのが心に残っています。

ぼくは、将来、楽しい人生にしたいです。明るく楽しく、みんなと大はしゃぎできる、そんな自分になりたいと思っています。そのために、中学校では友達をたくさんつくって楽しく過ごしたいです。

将来は公務員になりたいです。



修学旅行（平成28年度）

私の思い出は、今まで勉強したこと、みんなで協力した運動会、修学旅行です。

私の将来の夢は、学校の先生になることです。今まで体験したことなどは夢にもつながるし、私の宝物です。

最後の1年は地域のみなさんや親の人たちに今まで以上に協力してもらって一生忘れられない思い出になりました。みなさんに協力してもらったので私は絶対夢を叶えたいです。

私の玉沢小学校の思い出は2つあります。

1つ目は修学旅行です。築館小と行きました。

たくさんの友達ができました。

2つ目は、5年生の花山宿泊学習です。キャンドルサービスをしました。

出し物したら、みんな大笑いしました。

将来は、社会福祉施設「よしの」「きぼう」「ほたる」の先生になることです。そのために勉強をがんばります。



修学旅行（平成28年度）



レンコン掘り大会（平成28年度）

この6年間で一番印象に残っていることは、音楽祭です。5、6年生では、ピアノばんそうをしました。たくさん練習をして、うまくひくことができたし、歌もきれいにうたえたので良かったです。私の将来の夢は、音楽の先生になることです。その夢をかなえるために、これからもっと練習して、ピアノでなんでもひけるようになりたいです。

ぼくは2年生の時に玉沢小学校に来ました。玉沢小学校はとても楽しくて、ぼくはうれしかったです。この4年間でいろいろな思い出ができました。特に、一生の思い出は修学旅行です。白虎刀を買ったり、みんなで昼食を食べたりしました。自主研修ではバスが来なかったり、タクシーを呼んでも来なかったりして、とても心配したけれど最後まで行けて良かったです。将来の夢は大工さんになることです。そのためにこれからも勉強します。

私の玉沢小学校での思い出は、地域ふれあい活動、学習発表会、花山宿泊学習、修学旅行です。そして、これらをとおしてたくさんの人たちとふれあってきた事が一番の思い出です。私の将来の夢は、看護師になることです。みんなの命を救えるようになりっぱな看護師になりたいし、患者さんにやさしく接したいです。そして私は、だれに対しても時にはきびしく時にはやさしく、みんなと一緒に行動できる人になりたいと思います。



## 先生方からのメッセージ

佐々木 英里子

前任校が閉校となり、私は玉沢小学校に赴任しました。そして、6年担任になりました。1年目の最高学年担任には自信がなく、別の学年を希望しましたが叶いませんでした。しかし、今はこの経験に感謝しています。右も左もわからない私は、玉沢小を知るために積極的に児童と話しました。職員室でも多くの先生方を巻き込みました。保護者の方々にもたくさん助けられました。この経験があったから、その後の日々も充実し、思い出深い5年間にする事ができたのだと思います。玉沢小の閉校は寂しいし、不安もあるでしょう。しかし、私がそうであったように、この経験に感謝できる日がきっと来ます。玉沢っ子よ！そう信じて、スタートしよう。そして新生活を大いに楽しもう！

高橋 真由美

半年間という短い間でしたが、明るく素直で可愛い玉沢小学校の皆さんと過ごすことができたことを幸せに思っています。皆さんの周りには、頼りになる優しいお友達が、心が安らぐ家族の皆さんが、温かく見守ってくださる地域の方々、困った時にはいつも相談にのってくださる先生方がいます。たくさんの方々を支えられ、応援していただいていることに感謝しながら、これからも健やかに成長されることを願っています。

小守林 和江

今から7年前、小高い丘の上に立つこの玉沢小学校に赴任してきました。144年間の歴史に幕を下ろす最後の年に、私の教員生活の最後を締めくくることができることは、本当に幸せなことに感謝しています。明るく素直な子どもたち、いつも温かく見守ってくださる保護者の皆様、そしてチームワーク抜群のPTA・地域の皆様のおかげで、毎日が楽しく、充実した7年間を送ることができました。私が玉沢小のためにできたことは、ほんのわずかなことです。その中でも、全校合唱の指導ができたことと、今の在校生全員の担任ができたことが、私にとってちょっと自慢できることです。玉沢小学校での思い出は、一生の宝物です。

鈴木 真木子

玉沢小学校に勤めて3年間、大変お世話になりました。1番心に残ったのは、最後の年に行われた、地域ふれあい活動です。子ども一人一人の夢を乗せた風船が、空高く小さく見えなくなるまで飛んでいく様子を保護者の皆様、地域の皆様もいっしょに見送る姿が忘れられません。こんなにも子どもたちを温かく見守る小学校が他にあるのでしょうか。閉校した後も子どもたちの成長を見守り続けてほしいと思います。がんばれ玉沢っ子！ありがとう玉沢小学校！

宮島 さく子

ブランコやドッジボールなど外遊びが大好きな42名の元気な子どもたち。運動会では、玉小ソーランをカッコよく踊り、きれいな歌声を会場中に響かせ、いつも心をひとつに頑張っていました。地域ふれあい活動の日、夢を書いた一人一人の風船が澄みきった秋の青空へ高く高く上がっていくのを見上げながら、きっと叶いますようにと心から願いました。いつも応援して下さった保護者の皆様、地域の皆様に深く感謝します。最後の1年間、5年生担任として本当にお世話になりました。ありがとうございました。

工藤 忠康

144年間、この玉沢地区の中心としてあり続けた小学校が再編されること、自分としてはとてもさびしく思います。でも、前を向かなければいけないのだと思います。自分を含め地域の方々全員がこれからさらに飛躍しなくてはならないのだと思っています。最後の1年間はとても楽しかったです。学校での行事に地域の方々がたくさん来てくれました。地域に支えられた玉沢小ラストイヤー。地域の思いを背負いながら、子どもたちは大きくなっていくのだと…。自分も忘れることはないと思います。

## 佐藤 信義

玉沢小学校を思うとき、それは、みんな笑顔であいさつし、温かいまなざしを送ってくださっている、保護者の皆様はじめ地域の方々から寄せられた多くの応援が浮かんできます。地域の皆様、保護者の皆様の企画力・団結力・実行力に支えられた私の勤務中の小学校です。学校がなくなれば地域が寂れるという言葉をよく聞くことがあります。ぜひそのようなことがありませんように、たとえ学校がなくなっても、こんなに元気がある、こんなにパワーがある、そういう地域になっていただきたい。そう願っています。

## 菅原 奈津子

玉沢小学校は、私にとって初めての小規模校で、不安半分、楽しみ半分で赴任したことを覚えています。でも、72人の児童を前にして不安はすぐに消えました。素直で人懐こくて、学年を越えて友達を思いやる気持ちをもっている、かわいい子どもたち。とても身近で、何でも気軽に話せる保護者の皆さんや地域の方々。こんな素晴らしい学校で6年間を過ごせたことはとても幸せでした。特に最後の卒業生となった7名の子どもたちと保護者の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。玉沢小学校はなくなってしまうのですが、6年間の思い出とたくさんの繋がりをこれからも大切にしていきたいと思えます。ありがとうございました。

## 木村 拓哉

玉沢小学校には2回お世話になりました。1回目は、視聴覚室で6年生が金管バンドに合わせた合奏で、2回目は、プレイルームで全校児童がヒップホップダンスで、温かく迎えてくれました。地域ふれあい活動では、PTAの方々、地域の方々の団結力の強さ、絆の強さを感じました。玉沢小学校は閉校となってしまいますが、玉沢の子どもたちが、いつまでも地域と強い絆で結ばれてほしいと思えます。大変お世話になりました。

## 柿崎 るみ

初任で玉沢小学校にきた私にとって、初めての子どもたちがたまさわっこ。すごく純粋で温かくて、でもやんちゃで…そんな子どもたちに私自身たくさん助けられ、支えられ、一緒に成長することができた2年間でした。各行事もちろんですが、毎日の何気ない会話や出来事が忘れられません。たまさわっこが大好きでたまりません。保護者の皆様や地域の方々のたくさんの愛情で、また一人一人が持つパワーとたまさわっこの絆で、大きく強く成長してってください。るみ先生はいつでもたまさわっこの皆さんを想っています。応援しています。2年間、本当にありがとうございました。

## 千葉 真澄

玉沢小学校には27年度に赴任し、学校事務として2年間お世話になりました。玉沢の子どもたちは元気で何事にも一生懸命に取り組み、行事を成功させてきました。それは保護者の皆様、地域の皆様のご協力があったからだと思います。玉沢小学校は144年間の歴史に幕を下ろします。勤務した学校がなくなるのは寂しいですが、玉沢小の子どもたちのさらなる活躍を応援しています。

## 鈴木 宗雄

私は富野に住んでおり、玉沢には学生時代、自転車で相撲の練習に来たことがあります。土俵は今の桜の木の前あたりにあったのを覚えています。3年前の夏に玉沢幼稚園の用務員として勤めることになり、久しぶりに玉沢に来た時懐かしく思い出しました。その後、小学校に移り、主に草刈り、清掃、給食の配膳をしました。子どもたちとふざけ合いながら話すのがとても楽しく、相撲の大会のように玉沢でのいい思い出になりそうです。これからの子どもたちの活躍も楽しみにしています。ありがとうございました。

思い出のアルバム



運動会（平成28年度）



小学校陸上大会（平成28年度）



カールデイベイト（平成28年度）



ミクロネシア交流会（平成28年度）



遠足（平成28年度）



花山宿泊学習（平成28年度）



命の授業（平成28年度）



南部地区小学校水泳大会（平成28年度）



幸之助の食育体験（平成28年度）



照越川探検（平成28年度）



ホッケー教室（平成28年度）



稲刈り（平成28年度）



地域ふれあい活動（平成28年度）



市音楽祭（平成28年度）



校内クロスカントリー大会（平成28年度）



精米作業（平成28年度）

思い出のアルバム





## 編集後記 ～最終校正が終了したある日の職員室にて～

栗原市立玉沢小学校 教頭 千葉 宏樹  
P T A学校再編実行委員会 副委員長 関村美裕紀

教頭：関村副会長さん、ついに原稿チェックが終わりましたね！ お疲れ様でした。

関村：教頭先生もお疲れ様です。やっと終わりましたあ（笑）

教頭：私が携わったのは今年だけでしたが、関村さんは編集担当のチーフとして2年間の作業でしたものね。どうですか？ 実際にできあがったものを見た感想は。

関村：それはもう、感激ですよ！

玉沢小のいいところがたくさん詰まっているっていう感じです。  
みんなの写真がいっぱいあるのもいいなあ。

教頭：同感です！ では、苦労したところはどんなところですか。

関村：うーん…。編集委員の皆さんに執筆の依頼と集約、編集と校正など積極的に動いてもらったので、苦労なんていうことはなかったと思います。でも、もっとたくさんの人に思いを書いてほしい気持ちはありました。限られたページ数ではそうもいかなくて。

教頭：表紙は10月の「地域ふれあい活動」ですよ。あの日の空。子どもたちの夢を乗せて舞い上がっていく色とりどりの風船。昨日のここのように思い出されます。今年の行事は玉沢、栗原のたくさんの皆さんに支えていただいたもんなあ。米づくり、収穫祭、さけの学習、漢方牛学習…他では体験できない行事ばかりで子どもたちの心にしっかり焼きついたはず。私の教師経験の中でもこんな素敵な一年は初めてですよ。

関村：そう言ってもらえるとうれしいです！

子どもたちはいつもとても楽しそうでしたね。そんな姿や表情を見ている私たち親も、自然に笑顔になってたなあ。

教頭：まさに「ふるさと玉沢」のよさですね。

関村：確かに！ あれ？ 教頭先生も私も玉沢小出身じゃないのに、「ふるさと」って語り合うのも変な話ですけどね（笑）

教頭：そうでした！（笑）でも、よそから来たからこそ、玉沢のよさがいっそうよく分かるのかもしれないよ。平野会長みたいに「玉沢サイコー！」って叫びましょうか？

関村：「144年間ありがとう玉沢小学校 この絆永遠に」の方がいいですよ（笑）

教頭：はい。「この絆永遠に」ね。閉校してもみんなの心の中には玉沢小があります。ずっとつながっていたいですね。そして子どもたちは、4月からそれぞれ新しい学校に通うことになりますが、玉沢っ子らしく、勉強も運動も元気に頑張ってほしいですね。

関村：それと私はP T Aの皆さんにこの場を借りてお礼を言いたいです。「皆さんありがとうございました。」そろそろ時間ですね。教頭先生、今日はありがとうございました。

教頭：関村さん、ありがとうございました。玉沢小、地域の皆さん、ありがとうございました！



栗原市立玉沢小学校閉校記念誌

発 刊 平成29年3月

発 行 栗原市教育委員会

企画・編集 栗原市立玉沢小学校P T A学校再編実行委員会 閉校記念誌班

